露店市場5月6日移転

―県道での店開きは交通に支障―

警察署前の堤防へ

露店市場は、いままで一ノ町から四ノ町までの県道及び栄町に開設されていましたが、県警察本部長より主要県道の露店市場は交通上等のことにより四月一日以降は他へ移転もしくは廃止されたい旨の要請がありました

これについて関係機関並に関係者間で協議検討がなされていましたが、五月六日からは今までの市場区域を廃止して、警察署前堤防上（五泉県道入口から警察堤防入口までの間）及びこれに隣接する小路へ移転することになりましたので従来どおりのご協力をお願いします。

（商工課）

計量器の定検 5月11日から18日まで

計量法により、来る五月十一日から十八日まで次のとおり計量器の定期検査を行います。

商店、工場、事業場、病院等で営業、取引、証明等に使用している計量器は全部検査をうけなければならないことになっていますから該当者は漏れなく検査をうけて下さい。

なお四月末頃、各区長を通じて計量器使用者調査書の提出をしていただくことになっていますから使用該当者は期日までに必ず提出をされるよう願います。

①検査日及び検査場所
5月11日　荻川農協
〃　12日　満日小学校
〃　13・14・15・16・18日　市公会堂

②検査区域　旧新津市のみ

③検査対象
取引、営業、証明等に用いられている計量器（はかり、ものさし、ますの類）
該当＝店舗、工場、事業場、病院、学校、助産婦、行商、露店、農業、官公署、大工等（家庭用に使用しているものは、受検希望のもののみ検査をうけて下さい。）

④前回の検査で合格したもの、新らしく購入したものでも現在使用しているものは検査をうけなければなりません

（商工課）

動力散粉機を購入

公営住宅26戸を新築

（一面よりつづく）

中学校費 では、三十三年度に引続き金津中学校舎の整備に要する費用六百六十三万円、第一中学校舎の移築に要する経費七十万余円を計上しました。

幼稚園費 では、幼児教育の内容充実を図るため本年度に引続き臨時備品費十一万余円を計上した外、第五（市ノ瀬）幼稚園の増築工事費七十五万余円を計上しました。

教育諸費 では、新津高校の施設充実に要する経費の地元負担金百万円を計上しました。

学校教育振興費 では、産業教育の振興充実を図るため、新たに産業教育振興用施設整備費三十万円を計上しました

公営住宅費 では三十四年度も三十三年度同様第一種木造住宅十戸第一種簡耐一棟六戸分、第二種木造住宅十戸を新築することとして、その所要経費一千三百四十九万余円及び滝谷団地内測溝工事費として九万円を計上しました。

保健衛生費

伝染病院費 では山谷伝染病院のコンクリート塀新設工事費三十万円、水道引込工事費十二万円などを計上しました。

清掃費 ではごみ蒐集の機動力増強のため、特殊自動車一台購入に要する経費百四十万円並びに目下建設途上のごみ処理場の増築費百六十万余円を計上しました。

産業経済費

観光費 では、目的税たる入湯税の増収並びに観光協会の活動と相俟って一層観光事業の発展を計るため施設整備費五十二万余円を計上しました。

農業費 では、溜池の改良工事費十八万円、動力散粉機の購入費百六万余円、林道工事費五十五万円、農道拡張工事費四十万円などを計上しました。

徴税諸費 では、事務の能率化、機械化のために計算器一台を購入する経費を計上しました。なお水道課で使用中の宛名印刷機を共用することによる必要なカード等の備品を備付けることにしました。この外の投資的事業合計しますと一億一千九百二十六万余円となり、この額は三十三年度の投資的経費の合計一億二千四百五十五万余円（現計）と比較しますと五百二十八万余円の減少となりますが、しかし同時議決の追加を含む当初予算と比較いたしますと一千四十万余円の増加となり、如何にこの種経費の増加に努力したかをご推察いただけると存じます。

青研に専任技術員

幼稚園に教諭四名を増す

消費的経費

次に消費的経費の面について申上げます。この方面の経費は公債償還費及び職員の昇給による人件費の増額など真にやむを得ない経費増や施設の改善整備に伴う電話料、電灯料、水道料、燃料費などの経費を増額したものですが、総体的には経費の効率的使用などによってできるだけ圧縮、膨脹をくい止めに努め、一面市民サービスの向上に役立つものについて、財源の許す限り適宜増額計上いたしております。そのうち主なものについて若干申上げます。

人件費 については、ご承知のように一般職員については、以前より欠員不補充の方針でのぞんでいますが、新年度より開設される小倉東幼稚園の教諭二名の増員並びに既設幼稚園がかなり手不足で幼児の教育上欠くるところあるを痛感いたしまして、更に二名の増員を計画しました。

清掃費 では、前述の特殊自動車一台購入に伴い自動車運転手一名を増員しました。

また本春お陰様で開設いたしました、**青年研修所** をより多くその機能を発揮せしめるために、専任指導技術員一名を新規採用し、外に転用により使丁一名を配置することとし、都合職員六名を新規採用することになりました。

職員の昇給予算 では条例に基く所要額を一応計上しましたが、国会で審議中の初任給引上げ、並びに期末手当の増額については後日議会の各位と十分ご相談を願い善処してまいりたいと存じております。

繰出金 一般会計から恩給会計への繰出金については、恩給会計経理の現況と一般会計財源の急迫の現状に鑑み、三十四年は取止めることとし、必要に応じ後年度に適当に措置したいと存じます。

児童生徒の健康診断強化

―老人福祉費を新設―

次に各款について主なるものを申上げます。

水防団費 で、水防団は明年度より指定水防団として阿賀、能代、両川水害予防組合の水防施設を引継ぎ、すべて市で処理することとなりますので、市では消防団の一部門としてこれを担当兼務願うこととし、その結果副団長一名、団員五名の増員並びに水防団の出動に要する経費及び資材整備費をそれぞれ増額計上しました。

教育諸費 では、昨秋学校保健法が制定せられ、小中学校、幼稚園の児童生徒に対する健康診断を全医科について実施し、適当なる保健指導をなすとともに、要保護並びに準要保護世帯の児童生徒に対する①トラホーム及び結膜炎、②白癬疥癬膿痂疹、③中耳炎、④蓄膿症、⑤う歯、⑥回虫病などについて市費で加療せしめなければならないこととなりましたので、今後健康診断実施上手不足となります歯科、耳鼻科、眼科の嘱託医を増員するための嘱託医報酬を六万余円増額し併せて必要なる医療費十四万余円を新規計上しました。

老人福祉費 を新たに設け、市内の年令八十五才以上の老人に対し、老後の福祉増進費として一人千円宛贈呈申上げるための費用十一万円を計上しました。

厚生諸費援護費 のうち、敬老会費は新年度から新たな試みとして今まで全市一か所で開催するため遠路ご足労をお願いしていたものを各地区に分割して、地元のご協力の下に有効適切に実施することに計画を改めて計上しました。

衛生費 では、市内の環境を改善し、もって伝染病の発生を未然に防止し併せて市街の美化を図るため、前述清掃施設の改善整備を図った外、そ族昆虫駆除費において薬品費二十万円などを増額計上しました。

産業経済費 の企業融対策費においては、市内の中小企業商工業者を育成援助するために、三十三年度に増額した産業育成資金を新年度も同額融資することとした外、新潟県信用保証協会の出損金十万円を追加計上して融資の途の強化進展を図ることにしました。

販路拡張費 では市物産の開拓を図るため各種展示会出品に要する経費を若干増額計上しました。

農業委員会費 では、新たに交換分合費七十三万余円を計上し、交換分合事業の促進を図りもって農地管理乃至農業経営の合理化に資することにしました。

新農村建設費 では、新年度は主として東部地区の事業費、事務費を計上したものであります。

以上のような方針で編成いたしました新年度の一般会計予算の総額は三億四千三百八十六万三百九十円で三十三年度当初予算（同時議決の追加予算を含む）三億一千四百五十万五千二百五十円に比し二千九百三十五万五千百四十円の増加となり、また最終見込予算（但し繰上充用額八百四十七万九千八百五十円を差引いた額）三億五千三百五十五万八千四百八十円と比較いたしますと九百六十九万八千九十円の減額となっております。

国保 法改正で財政難

往診料、歯科補綴を制限

特別会計

次に特別会計について申上げます。

国民健康保険費

本会計においては昨年十月約一〇％の医療費引上げが行われ、本年一月には国民健康保険法の全面改正がなされるなど制度、財政の両面について重大なる影響を受ける結果となりました。しかし乍ら本市においては急激なる制度の改変は極力これを避けて漸進的に新制度への移行を計る方針を採りました。

すなわち新国保法においては職場保険の被扶養者を除外することを原則として規定していますが取敢えず三十四年度はこれを除外することなく逆当することにしました。また保険料の賦課徴収方法についても、職場保険の被扶養者を除外するまでの間は従前通りの方法を採用してゆくことにしました。

財政面においては歳出で昨年十月の医療費引上げと利用の増加等によるものが約五百万円、法改正に伴う初診と看護の給付により約二百三十五万円の増加が見込まれるところであります。一方歳入面においては国庫支出金の増加は約八十四万円位しか期待できず、一般会計よりの繰入金二百四十万円は地財法に基く財政計画によりこれを計上することができない実情にあります。よってやむを得ず初診料のかわりとして往診料、補綴の給付を制限して三百四十万円の支出節減を計り、なお不足分七百三十万円はやむなく保険料において二三・六％の増徴を行わざるを得なかった次第であります。

また職場保険加入世帯の保険料所得割については、従前より五％割引率の引下げを行い負担の均衡化を計りました。このように苦しい財政事情下にはありますが、市民の健康保持増進のため保険施設費において三百五十万円を計上して、疾病の予防と早期発見等これが対策を積極的に推進する外、助産費、葬祭費の各三百円を五百円に増額し、不十分ながらサービスと事業内容の充実に意を用いた次第であります。

水道大口営業用料値下げ

未設量水器三か年計画で整備

上水道 では、所期の拡張工事も三十三年度で一応一段落しましたので、三十四年度から施設の維持や改良に意を用いて給水能力の向上に努め、一方市民利用者へのサービス改善に力をいたしたい考えであります。それによりここに歳入歳出三千八百六十五万二千五百四十円の予算を編成したのであります。

水道使用料は財政的な努力をいたしまして改訂を加えず、現行どおりとしましたが、各方面からの要望もありますので、第二類に属する営業用使用料については種々検討の結果一応の成案を得ております。

歳入において給水工事納付金を減額したことは新設工事の減少傾向もありますが、本支管の市有部分の工事増加と配水区域が延長されたことによるサービス的な無料修繕が増加し、有料工事に施工の余裕が少くなってきたことによるものであります。

水道使用料はその後の配水地域拡張に伴う給水戸数の増加によって五十六万余円の増収が見込まれるのであります。

歳出においては職員費の増加は一般会計と同様の実情であります。事務費は大体前年度にならい計上しました。

次に量水器は目下未設置戸数が約一千戸もあり且つ戦前取付の旧型で修理に耐えないものも数百個もあるので、三十四年度より三か年間計画で全部整備すべく、差当って五百五十個九十四万円購入を計上したのであります。

この外主なるものとしては、中新田の送水用拡水器が創設当時のもので多額の修理費を要するので一基購入費十五万円を計上し、なお塩素滅菌器は在来中新田浄水場のものを予備としておりましたが、今夏相当期間の作業が予定されるのでどうしても、予備塩素滅菌器が必要なので、一基十五万円の購入計画をしたのであります。その他は原材料費において直営工事による工事納付金の歳入減に相当する支出の減額をした外は大体前年度と同様の経常経費を見込んだ次第であります。

枝肉センター 起債7,100万円

荻川駅前に1,200坪で

と場費 は現在のと場が老朽していますので昨年来市議の皆様からもご調査、ご検討を願い、且つ県当局のご協力を得ましてこの程漸く一応の成案ができましたので、新年度には是非実現を期したいと考えております。

この案の内容は荻川駅に隣接した敷地一千二百坪を求め、総事業費七千四百五十四万余円を以て年間牛馬六千頭、豚六万頭を処理可能のいわゆる枝肉センターを建設しようとするものでありまして、財源としては一般会計の繰出金四百万円を充てる外、起債七千百万円を予定しております。

なお経常費につきましては、ひと先ず現と場の維持経営費を計上したものでありまして新と場の経営費につきましては、建設工事の進捗状況を見て追ってご相談申上げたいと存じております。

分譲住宅費 では住宅難緩和に資するため三十四年度も三十三年度分に引続き二十戸を建設することにしました。

その他 公益質屋費及び市場は大体三十三年度と同様のものであり、職員恩給費及び住民税賠償資金費については特別に申上げる程のこともありません。

以上新年度予算編成の基本方針並びに計上された予算の内容について概要をご説明申上げた次第であります。（おわり）

市　税

年度末でありますので
33年度市税未納の方は
至急お納め下さい